

熊本市住宅審議会 「住宅」支援部会 議事録

<p>日時： 平成 27 年 1 月 20 日 (火)9:30～11：30</p> <p>場所： 熊本市役所マスマチュアル生命ビル 2 階会議室</p> <p>出席者： 田中委員(部会長)、松岡委員、持田委員、御厨委員、岡田委員、浦田委員</p> <p>次第： 1 開会</p> <p>2 報告</p> <p>①住宅審議会 (H26. 10) 以後の審議と修正内容について</p> <p>②パブリックコメントの結果について</p> <p>3 議事</p> <p>①成果指標の修正について</p> <p>②住生活基本計画 (素案) について</p> <p>4 その他</p> <p>6 閉会</p> <p>質疑：</p>	
<p>成果指標の修正について</p>	
部会長	<p>指標中の「住まいに満足していると感じている市民の割合」の「要検証」とはどのような意味か。</p>
事務局	<p>現在、目標値を出すことができないため、アンケートの調査結果が出てから数値を算出するという。パブコメに出す際に指標の基準値が出ていなかったため、「要検証」としており、基準値が出たら変更するという意味で記載している。アンケート結果が出たら「要検証」という文言は消える。</p>
部会長	<p>P50 の連携イメージ中の課名が太字になっているが変更はできないか。</p>
事務局	<p>修正を行う。太字に意味はない。</p>
部会長	<p>「住まいに満足していると感じている市民の割合」に関して、他都市ではどのような割合になっているのか。</p>
事務局	<p>他都市の指標として、出しているところはなかったと思う。指標の「良好な居住環境が保たれていると感じる市民の割合」などのように高い値が示されているものもあれば、50%前後のものもある。その中で、「良好な居住環境が保たれていると感じる市民の割合」が50%を超えていることを考えると、「住まいに満足していると感じている市民の割合」も比較的高い値になるのではないかと考えている。</p>
委員	<p>アンケートを無作為で取ると思うが、持ち家や借家などの違いで結果が変わってくるのではないか。</p>
事務局	<p>持ち家か戸建かなどの分析はできるが、成果指標としては、全ての要素を含めたトータルでの指標となる。</p>
委員	<p>住んでいる住宅について、広さ・間取りなど一括りでとったアンケートなのか。</p>
部会長	<p>全員が「どちらとも言えない」をつけそうだと感じる。</p>
事務局	<p>家族構成やライフスタイルによっては「満足していない」とつける人もいるかもしれない。</p>
委員	<p>アンケートの設問を細かくした方がいいのではないか。</p>

事務局	他の課とも連動したアンケートであり、沢山あるアンケート項目の中の1項目であるため、詳しく書くことができない。 また、数100人のモニターに対しては、回答理由を尋ねるので、分析の参考にできる。
部会長	割合がいいのか、総合点数の平均がいいのか。指標の数値の出し方を工夫した方が良い。
事務局	アンケートの結果は、庁内で統一して進める。指標の出し方は、庁内の数値の出し方から検討することになる。
部会長	指標の値の出し方は検討できるのか。
事務局	庁内としては割合を出すだけであるが、アンケート結果のデータをもらえば、分析して指標を考えることはできる。
委員	「あまり満足していない」や「全く満足していない」と回答した人たちが何に対して、満足していないかを把握することが必要である。
事務局	設問項目の自由回答として、理由を書いてもらうことはできる。
委員	築年数も聞いているのか。
事務局	築年数については、平成18年5月30日以前か以後かのみ回答項目となっている。
部会長	賃貸かどうかは聞いているのか。
事務局	賃貸かどうかに関しては設問項目にある。
部会長	今後、どのような不安があるかを把握することが大事。今は大丈夫だが、家族構成の変化や設備の老朽化などによって回答が変化することが考えられる。 また、「平均築後年数」など一般の方には分かりにくい語句については、語句の説明をもっと詳しく書く必要がある。指標に関しては、一般の方々も気にされているはずである。
事務局	現在は、解説を書いていないため、一般の方が見ても分かるように修正する。
部会長	用語解説に「滅失築後年数」や「滅失率」等の解説を書いてはどうか。
事務局	指標の解説を書くことができるようにレイアウトを調整する。他の部会の語句も併せて見直す。
部会長	「住まいに満足していると感じている市民の割合」は新しい指標であるため、指標の設定をきちんと行い有効に活用できるものとする。
委員	何が良質なのかを問うために設問（賃貸かどうかや建築年数など）を増やしているはずだが、満足しているかどうかは感覚での判断になる。何を良質と考えるかというところが重要になると思うが、今のところは市民が考える感覚を知る程度である。
部会長	ハードばかりの指標だったので、市民の意識を聞こうということで「満足度」を問う指標が入った。
委員	課オリジナルのアンケートが取れることが一番良い。
部会長	まずは、市民の意識を知ることが大切である。
熊本市住生活基本計画（素案）について	
委員	住宅に関連する助成金について、一体化した情報提供はどうするのか。
事務局	次年度から具体的に取組んでいく。
部会長	論文のように図表番号は入れないのか。
事務局	図表番号は入れない。

委員	空き家方針にリバースモーゲージが入っているが、リバースモーゲージは身寄りがないときだけではないので、限定することではない。
事務局	「身寄りがない」を削除して修正する。
部会長	住まいのホームページは魅力的なものにならないのか。今後、修正の取組みはないのか。
事務局	今後、ホームページのアクセス数も増えるように魅力的なものに修正していきたい。
部会長	素案は大筋、問題ない。
事務局	<p>連携イメージの書体を修正する。</p> <p>「住まいに満足していると感じる市民の割合」については、基準値や目標値の設定などを再検討する。最終的な値については、部会長・各委員さんに確認をする</p> <p>指標に関しては、分かり易く解説を入れる。</p> <p>リバースモーゲージについて、「身寄りがない」を削除する。</p>
デザインについて	
委員	個人的にベースの色は温かみがあるものが良い。
委員	高齢者や障がい者にも見え易いようにカラーユニバーサルデザインの色を採用して欲しい。

以上